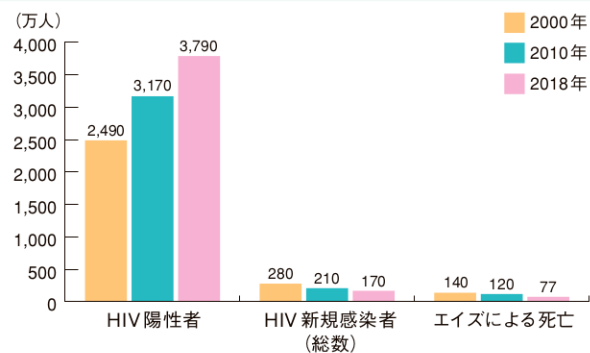


国際的に見たHIV/エイズ問題

2018（平成30）年には、世界のHIV感染者は約3,790万人となり、世界人口約76億人の約0.5%に当たります。なお、全世界で新たにHIVに感染した人は、2000（平成12）年の280万人から170万人に減少しています。

貧困な地域ほど、エイズによる死亡件数も多く、その主な理由としては、高価な治療薬の購入できないという問題が挙げられます。また、HIV感染について、病気自体のことや予防が知られていないという問題もあります。

世界のHIV陽性者等推移状況



国連共同エイズ計画「UNAIDSファクトシートーグローバルエイズアップデート2019」を元に作成

世界エイズデーとレッドリボン

* WHO（世界保健機関）は、1988（昭和63）年に世界的レベルでのエイズまん延防止と患者・感染者に対する偏見や差別の解消を図ることを目的として、12月1日を“World AIDS Day”（世界エイズデー）と決めました。日本でも、毎年12月1日を中心に、全国各地で様々な「世界エイズデー」イベントが開催されています。

* レッドリボンはエイズで亡くなった人々への追悼の気持ち、エイズに対する理解と支援の意思を示すためのシンボルです。UNAIDS（国連共同エイズ計画）のシンボルマークにも採用されています。

